



## 2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク  
コード番号 7614

上場取引所 東  
URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2020年12月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第3四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	21,491	△1.8	826	26.2	1,055	34.7	549	8.0
2020年1月期第3四半期	21,883	△2.0	655	△24.0	784	△13.7	508	△0.3

(注) 包括利益 2021年1月期第3四半期 561百万円 (19.5%) 2020年1月期第3四半期 469百万円 (△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	81.56	-
2020年1月期第3四半期	75.31	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期第3四半期	17,734	13,664	77.1	2,030.31
2020年1月期	16,471	13,285	80.7	1,967.93

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 13,664百万円 2020年1月期 13,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2021年1月期	-	0.00	-	-	-
2021年1月期(予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△3.2	1,120	5.1	1,270	2.5	700	3.1	103.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期3Q	7,335,634株	2020年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2021年1月期3Q	605,419株	2020年1月期	584,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期3Q	6,735,541株	2020年1月期3Q	6,751,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界的な経済活動の停滞により、極めて厳しい状況となっております。コロナ禍への政府の対応として「緊急事態宣言」等様々な政策が施行される中、個人の外出や消費は大幅に減退し、企業活動は従業員の安全への配慮を優先するとともに、需要の縮小や供給不安など、社会及び経済活動全般に先行きが不透明な状況となりました。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であることから、大部分の店舗での営業は継続されたものの、商業施設等の一部店舗の休業や営業時間の短縮など負の影響も発生し、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、物流費の増加等に加え、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく様々な施策を実行しております。小売部門においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

外食事業にあっては、4月に入ってから緊急事態宣言発出以降、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりましたが、5月後半の同宣言解除以降、営業時間の制限など制約はあるものの、全店での営業を再開しております。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。なお、上記休業に伴う損失は店舗休止等損失として計上しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高214億91百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は8億26百万円（同26.2%増）、経常利益は10億55百万円（同34.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は店舗休止等損失2億16百万円の計上などにより5億49百万円（同8.0%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

## 「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は3店、閉店は8店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は140店になりました。内訳は食肉小売店127店（前期末比2店減少）、惣菜小売店13店（同3店減少）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新型コロナウイルス感染症対策での外出自粛等により家庭需要が増大したことなどから、売上高は176億77百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は13億52百万円（同115.2%増）となりました。尚、本事業を管轄する子会社(株)オーエムツーミートの当第3四半期連結累計期間は2020年2月1日～2020年10月31日となっております。

## 「外食業」

当第3四半期連結累計期間の開店はなく、閉店は6店であり、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は42店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響を強く受けたこと等から、売上高は39億9百万円（前年同期比37.4%減）、営業損失は2億86百万円（前年同期は2億48百万円の営業利益）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第3四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業) 2019年12月1日～2020年8月31日

(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2020年1月1日～2020年9月30日

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	116億17百万円（前期末比+9.3%）
固定資産	61億16百万円（同+4.6%）
総資産	177億34百万円（同+7.7%）
流動負債	35億58百万円（同+29.7%）
固定負債	5億11百万円（同+15.8%）
純資産	136億64百万円（同+2.8%）
負債・純資産合計	177億34百万円（同+7.7%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月12日の決算短信で公表致しました2021年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の第3波による感染再拡大が、食肉等小売業及び外食事業における年末商戦等へ与える影響が不透明であり、現時点において連結業績に与える影響を合理的に算定することが困難であるため変更していません。

今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,212,999	8,993,260
受取手形及び売掛金	386,751	216,189
テナント未収入金	1,301,445	1,493,885
商品及び製品	404,378	454,987
原材料及び貯蔵品	37,627	32,369
未収入金	164,176	242,771
その他	118,410	184,101
貸倒引当金	△952	△71
流動資産合計	10,624,837	11,617,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,679,527	3,585,135
減価償却累計額	△1,922,014	△1,967,300
建物及び構築物(純額)	1,757,512	1,617,834
機械装置及び運搬具	429,094	437,831
減価償却累計額	△279,975	△301,016
機械装置及び運搬具(純額)	149,119	136,814
土地	527,407	527,407
その他	1,896,330	1,949,207
減価償却累計額	△1,429,361	△1,507,160
その他(純額)	466,968	442,047
減損損失累計額	△601,981	△554,050
有形固定資産合計	2,299,025	2,170,052
無形固定資産	108,924	109,669
投資その他の資産		
投資有価証券	2,028,601	2,213,480
長期貸付金	56,339	48,362
退職給付に係る資産	117,788	116,181
繰延税金資産	164,464	415,291
敷金及び保証金	1,049,206	1,013,595
その他	35,303	43,099
貸倒引当金	△13,195	△13,195
投資その他の資産合計	3,438,509	3,836,816
固定資産合計	5,846,459	6,116,538
資産合計	16,471,297	17,734,032

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,621,081	1,669,707
1年内返済予定の長期借入金	—	17,360
未払金	345,974	553,693
未払法人税等	161,591	382,651
賞与引当金	69,452	330,658
その他	545,766	604,195
流動負債合計	2,743,866	3,558,266
固定負債		
長期借入金	—	82,640
退職給付に係る負債	38,450	40,938
役員退職慰労引当金	64,752	67,514
資産除去債務	261,493	254,853
その他	76,860	65,420
固定負債合計	441,557	511,367
負債合計	3,185,423	4,069,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	11,880,254	12,267,590
自己株式	△576,698	△597,619
株主資本合計	13,162,254	13,528,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,370	126,401
退職給付に係る調整累計額	18,248	9,326
その他の包括利益累計額合計	123,618	135,727
純資産合計	13,285,873	13,664,397
負債純資産合計	16,471,297	17,734,032

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	21,883,431	21,491,074
売上原価	13,079,557	13,208,453
売上総利益	8,803,874	8,282,620
販売費及び一般管理費	8,148,576	7,455,894
営業利益	655,298	826,726
営業外収益		
受取利息	731	647
受取配当金	1,646	1,606
持分法による投資利益	74,558	168,327
家賃収入	7,613	3,087
協賛金収入	24,581	34,348
受取手数料	715	688
その他	19,602	21,289
営業外収益合計	129,450	229,995
営業外費用		
支払利息	61	140
不動産賃貸原価	240	242
その他	405	383
営業外費用合計	708	765
経常利益	784,040	1,055,955
特別利益		
受取補償金	31,200	3,220
補助金収入	—	68,306
店舗売却益	—	10,000
受取保険金	2,900	—
特別利益合計	34,100	81,526
特別損失		
有形固定資産除却損	11,123	7,284
減損損失	11,615	45,670
店舗閉鎖損失	4,977	42,484
店舗休止等損失	—	216,653
特別損失合計	27,716	312,092
税金等調整前四半期純利益	790,424	825,388
法人税、住民税及び事業税	298,004	529,120
法人税等調整額	△16,031	△253,096
法人税等合計	281,972	276,024
四半期純利益	508,451	549,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	508,451	549,364



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	508,451	549,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,408	4,481
退職給付に係る調整額	△985	△1,575
持分法適用会社に対する持分相当額	△50,088	9,203
その他の包括利益合計	△38,665	12,108
四半期包括利益	469,786	561,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,786	561,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響に関して、従来2020年末に向けて徐々に正常化するとの仮定を置いておりましたが、収束時期が未だ不透明な状況にあることから、少なくとも2021年1月期に渡り続くとの仮定に変更し、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年2月1日 至2019年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,673,425	6,210,006	21,883,431	—	21,883,431
セグメント間の内部売上高又は 振替高	43,242	37,054	80,296	△80,296	—
計	15,716,667	6,247,060	21,963,727	△80,296	21,883,431
セグメント利益	628,644	248,604	877,248	△221,950	655,298

(注) 1. セグメント利益の調整額△221,950千円は、セグメント間取引消去△39,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,758千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」8,250千円、「外食業」3,365千円です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,621,537	3,869,536	21,491,074	—	21,491,074
セグメント間の内部売上高又は 振替高	55,764	39,773	95,537	△95,537	—
計	17,677,301	3,909,310	21,586,611	△95,537	21,491,074
セグメント利益又は損失(△)	1,352,755	△286,625	1,066,130	△239,404	826,726

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,404千円は、セグメント間取引消去△51,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,690千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」25,235千円、「外食業」20,435千円です。